



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

持続可能な地域循環・構築・人材育成・環境保全へ向けた実証活動

野村 歩

(

のむら あゆむ

)

東和観光開発株式会社 室長(開業総支配人)



### ○ 登録者情報

所在地

山口県大島郡周防大島町

## 略歴

神奈川県鎌倉市の出身で、大学(明治大学文学部)卒業まで都心を離れたことはなかったが、大学卒業後、旅行会社を経てホテル業界に入り、海外15年、国内15年の計30年以上にわたり、観光・ホスピタリティ・地域活性に携わる。

国内では宮城・小樽・東京・千葉と各地での生活を経験され、その後、周防大島町に移住されて4年が経過。今もなお、この島の生活、季節ごとに表情を変える自然、温かい人々に心身ともに癒され、都会での生活を経験したからこそ、この“飾らない日常”が新鮮で飽きることのない仕事と生活を送られている。「この島に移住して本当によかった」と胸を張って言えることが何より嬉しいと語られ、「これからは私自身が地域に恩返しをする番だ」と語り、少しでも多くの方に、この島をはじめ地方の素晴らしさを知っていただけるように活動をいただいている。

東京のホテルに勤務されていた2021年(コロナ禍)の折、奥様の祖母の実家とご縁から家族で周防大島へ「孫ターン」として移住され、現在の会社へ入社。ホテルのリニューアル開業総支配人として、また周防大島観光協会理事として、地域に愛される環境に優しいランドマークホテルを目指し、CSR活動や地域貢献活動に尽力されてきた。

宿泊で心身ともに癒しを感じられるホテルを目指され、アメニティには竹や麦素材の商品を採用し、お持ち帰りいただける巾着袋を用意。シャンプー・ソープ類はオーガニック商品を選定し、フードロス削減の観点から、宿泊人数に応じて朝食をビュッフェとセットメニューで切り替える運用を実施。一度は高級路線に傾き離れてしまった地元の方々にも、再び気軽に立ち寄り、盆暮れ正月に親族へ勧めていただける“地元自慢のホテル”を目指して取り組みを続けられている。

その中でも、2023年のハワイ・マウイ島大規模火災義援金、2024年の能登半島地震義援金の募金活動、さらには石川県産ワインやジンの販売による売上金全額寄付など、従業員はもとより、お客様と共に「何かをつくり上げたい」という思いで活動を継続されている。2025年には、首都圏での認知度向上と富裕インバウンド層の開拓を目指し、東京営業室を開設。室長として月に1週間ほど東京に赴かれ、旅行会社・航空会社・メディア企業などを訪問、周防大島町の魅力を発信するとともに、長州大工による神社仏閣巡り、地域のカフェ・レストラン巡りなどの新たな観光コンテンツや、星空観賞会、日本アワサング保全ツアー、アサギマダラの里保全体験などのエコツーリズム造成にも取り組まれている。中でも、JALスカイワードプラスが発信する「半島彩再発見」では、室津大島半島を特集していただくとともに、自然に溶け込むホテルの外観写真を半島ポスターに採用され、半島を代表する企業として再び認知していただく機会を創出いただく。

同時に、地域のイベントへの協賛・運営協力(お太子堂歩け歩け大会、まるかじり紅白餅まき合戦、シマクル、ウルトラマラニック、サタフラ、周防大島360DX企画、山口県知事杯ビーチバレー大会、女子実業団バレーボールエキシビジョンマッチ、バレーボール教室などへの協力も継続し、その取り組みの結果、1000人規模の「関係人口」を創出し、地域と地域産業に貢献されている。野村氏個人としても地域のお祭りやお接待、海岸・河川清掃などに参加し、観光客の誘致、地域資源の把握と魅力発掘、島の活性化、地域社会の発展と持続可能なまちづくりに努められている。

また、現在下記の活動にも任命され、幅広い分野で地域に貢献されている。

- ① 一般社団法人 周防大島観光協会 理事(商工観光課) \* 町の観光客誘致活動
- ② ゲートキーパー(健康増進課) \* 特にお年寄りへの声がけと見回り
- ③ 地域文化交流員(宮本常一記念館・教育委員会) \* 郷土研究活動
- ④ 暮らし体験ネットワーク講師(農林水産課) \* 地元食材を利用した料理研究等
- ⑤ 移住サポーター(定住対策課) \* 移住・定住促進に向けた講演や交流活動
- ⑥ 盆踊り保存会 役員(内入自治会) \* 口説き、太鼓、踊りの後継
- ⑦ 海業促進委員会(周防大島町漁協) \* 片添海岸の活性化
- ⑧ 地球温暖化対策実行計画策定委員(周防大島町委嘱・生活衛生課)
- ⑨ ピックルボール観光案内人(一般財団法人ピクルボール日本連盟認定) \* 周防大島町内での大会誘致、体験ツアー造成、近隣市町とのイベント交流等検討
- ⑩ ぶちエコサポーター(県環境生活部) \* 温暖化対策検討並びにSNSでの情報発信など

## 著書・論文等

著書等は特にございませんが、主な講演活動を以下に記載いたします。

・環境省・文部科学省・山口県立周防大島高等学校・YMFG ZONEプランニング

「地域循環共生圏プラットフォームづくり」

・山口県農林水産政策課

「山口農林漁業ステキ女子応援プロジェクト支援に関する講演」

・山口県立秀英高等学校

「就職みらい支援講演」

・Hotel Japan Conference

「2023年大阪・2025年東京：職場のウェルビーイングと企業におけるSDGs活動の推進」

・APU立命館アジア太平洋大学 サステナビリティ観光学部

「観光学入門 ～観光推進組織、観光地経営、リゾート論～」

・周防大島町農林水産課

「周防大島町担い手育成総合支援協議会 ～就農・移住生活に関する講演～」

## ○ 持続可能な地域循環・構築・人材育成・環境保全へ向けた実証活動

### 取組の内容

ホテル事業を軸に、地域産業振興、次世代育成、環境保全、移住定住支援までを包括的に推進し、周防大島および山口県全体の持続可能な発展に寄与しています。

山口県農林漁業ステキ女子応援プロジェクトに参画し、「都市農漁村交流」の一環として、女性生産者の活躍支援や、地元企業や団体と連携し、地域活性化に貢献したり、山口県立周防大島高校の「島じゅうキャンパス」活動を支援し、環境省の地域循環共生圏づくり事業に参画し、経済・社会・環境の調和を目指したネットワークづくりを支援しています。

さらに、移住サポーターとして移住体験ツアー支援や講演活動、地球温暖化対策委員として町との協議に参画し、地域課題の解決に取り組んでいます。加えて、地域自治会と連携し、盆踊りを復活させ、伝統文化の継承と地域のつながり強化にも尽力しています。

これらの取組を通じ、観光、教育、環境、文化を横断した地域循環型の持続可能な社会づくりを実践しています。



山口県農林漁業ステキ女子応援プロジェクトワークショップ  
(野村：左端)



山口県立周防大島高校活動 環境に関する会議  
(野村：中央説明者)

### 実績

2018年以降 農業に携わる若い女性の農業経営の課題解決に向けた学習、情報交換、商品販売を支援

2020年以降 山口県立周防大島高校の「島じゅうキャンパス」活動を支援

2023-2024年 環境省の地域循環共生圏づくり事業に参画し、次世代を担う高校生が中心となる取組に実務家として支援

2025年 移住サポーターとして移住体験ツアー支援や講演活動

自治会では伝統文化の継承を実践

観光、教育、環境、文化を横断した地域循環型の持続可能な社会づくりの支援・実践を行っている

### 工夫した点や苦勞した点

関係者にボランティア活動や地域環境を守るイベント創出へ積極的に参加いただき、主体的に関わってもらうことを重視。活動の意義を参加者に「腹落ち」してもらえるよう、メディア発信による認知向上と社会的評価の可視化を意識的に実践。

また、自治体からの協賛や後援を得ることで活動の信頼性を高め、地域全体での参画を促進し、地域住民が主体的に取り組む意識改革につなげることを目指している。

当初は住民や行政の間で活動目的の理解に温度差があり、参加を促すまでに時間を要したが、継続的な情報発信と対話を重ねることで、徐々に賛同の輪が広がり、現在では地域ぐるみの活動として定着しつつある。

### ひとことPR

観光素材の発掘と商品化を通じて、地域の新たな価値創出に取り組んでいます。

周防大島モデルを全国への発信を目指すとともに、移住者起業支援、空き家・放農地対策、高齢化・過疎化対策などにも官民連携で取り組み、「できることから一歩ずつ」できることを支援できればと考えています。

妻の祖母の家があるご縁から移住したこの地で、観光、教育、環境、文化を横断した地域循環型の持続可能な社会づくりを目指しています。

## ○ 参考

### 取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	○ 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継（事業承継等）・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
○ その他 新たな観光コンテンツ開発	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	○ 地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	○ その他 自然環境保全活動
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インパウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	○ 地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他
○ その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
○ その他 新規ツアー造成、観光ネットワーク創設	○ その他 移住サポーター
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
○ 結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
○ 働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携（高校魅力化・域学連携等）
○ その他 産後ケアサポート・子ども食堂サポート	○ その他 環境保全講義活動
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント（公共施設管理・公会計整備）	○ 地域ブランディング
官民連携（PPP・PFI）	○ メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
EBPMに基づく政策立案	
その他	

### 関連ホームページ

SHITATERU事例紹介	<a href="https://sitateru.com/case/marissa-resort/">https://sitateru.com/case/marissa-resort/</a>
ひといき(エフエム山口)紹介	<a href="https://www.marissa-resort.jp/news/329/">https://www.marissa-resort.jp/news/329/</a>
日本ホテル業界 コンファレンス紹介(23年度、25年度 職場のウエルビーイングに関し)	<a href="https://www.marissa-resort.jp/news/620/">https://www.marissa-resort.jp/news/620/</a>

### 連絡先

メールアドレス	andyayumunomura [アットマーク] gmail.com		
---------	------------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。